

政策番号	6	政策分野	文化
------	---	------	----

基本方針	くらしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。
------	---

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都文化芸術都市創生計画, 京都文化芸術プログラム2020
---------------------	-------------------------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価	23年度 評価値	32年度 目標値	25 年度	26 年度	27年度評価				
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 市民ふれあいステージ出演申込数(件)	103	—	e	d	86	92	103	89.3%	c
2 京都市芸術文化特別奨励制度応募者数(件)	77	—	d	a	85	90	85	106.0%	a
3 文化施設の年間入場者数(人)	3,125,718	—	d	c	3,304,860	3,024,215	3,470,802	87.1%	e
4 本市が指定, 登録した文化財の数(件)	7	—	c	c	6	6	9	66.7%	c
			d	c					c

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	25年度	26年度	27年度
0601	すべての市民が京都のまちを支え, かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり(2指標)	a	b	e
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援(2指標)	e	d	b
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上(2指標)	a	a	a
0604	かけがえのない文化財の保護, 活用と伝承(3指標)	a	b	c
	(4施策平均)	b	b	c

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価=1:0.5)	25年度	26年度	27年度
	—	c	c

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		25年度	26年度	27年度
1	京都では, 文化芸術にかかわる活動が盛んである。	a	a	a
2	市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	c	c	c
3	文化・芸術活動によって, 京都のまち全体が活気づいている。	b	b	b
4	文化財が社会全体で大切にされ, 地域の活性化にもつながっている。	b	b	b
	市民生活実感調査総合評価	b	b	b

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

25年度		26年度		27年度	
順位	%	順位	%	順位	%
17	80.8%	19	81.6%	18	78.7%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
	<p>【客観指標】●市民ふれあいステージの出演申込数は、目標値をほぼ達成でき、評価はd→cと改善した。</p> <p>●京都市芸術文化特別奨励制度の応募者数は、市芸術センターでの応募者説明会のほか、応募が見込まれる市立芸術大学での説明会の開催など、積極的な広報活動の結果、過去5年間の最高値を超え、a→a評価と高い評価で安定している。</p> <p>●文化施設の年間入場者数については、京都への観光客の増加、施設整備が完了に近づいている等の要因から、二条城、動物園は数字を伸ばした一方、美術館については、昨年度の7割程度の入館者数に落ち込み、c→e評価と悪化した。</p> <p>●文化財の指定・登録数については、文化財保護審議会に諮問した案件は、すべて指定・登録されたものの、対象とする文化財が、国の重要文化財に匹敵する価値を有するため、指定・登録に向けての価値評価に時間を要したことにより、ほぼ例年並みの件数となり、3年連続c評価が続いている。</p> <p>【市民の実感】●文化芸術の市民生活への普及については、条例や計画の推進等の結果、徐々に文化芸術が生活にとけ込んでいると感じている割合は増加しており、3年連続c評価となっている。</p> <p>●その他の設問については、3年連続a又はb評価となり、安定している。</p> <p>【総括】●京都のまち全体として、文化芸術活動が着実に根付いているものの、文化芸術が日々の暮らしの中に浸透し、市民自身がより身近に感じ、実際に活動などに参加してもらえるよう、更に取組を進めることが重要である。</p> <p>●こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。</p>	26年度	B
		25年度	C

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		25	26	27
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり	B	B	C
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援	C	C	B
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上	A	A	A
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承	A	B	C

<今後の方向性>

●世界的な文化芸術都市・京都の創生に向け、継承と創造に関する人材の育成等、創造環境の整備、文化芸術と社会の出会いの促進の3点を重視し、文化芸術によるまちづくりを進める。

●継承と創造に関する人材の育成等においては、伝統芸能文化のさらなる創生に向けた取組や、芸術家の育成・活動支援、文化芸術に親しみ、その楽しさを知る子どもたちの育成に取り組む。

●創造環境の整備においては、京都会館の創造・発表拠点としての再整備や、国内外との文化芸術交流による質の高いコミュニケーションの促進等に取り組む。

●文化芸術と社会の出会いの促進においては、市民が文化芸術及び芸術家と出会う機会を充実するなど、文化芸術と暮らしを改めて結び付けるための取組を推進する。

●また、かけがえのない文化財の保護、活用と伝承に向け、文化財の指定・登録数が増加するよう、引き続き、指定・登録の対象物件調査に取り組む。

政策名	6	文化	
指標名	市民ふれあいステージ出演申込数（件）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先 366-0033	
1 指標の説明			
市民ふれあいステージ（市民に文化活動の場を提供し、多くの方が気軽に文化芸術に触れる機会を創出するため、市民参加型の催しとして、毎年10月に開催）への出演申込数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
文化芸術が市民の日常生活の中に溶け込んでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 103	平成32年度目標値 ー	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す
	前回数値 25年度 86	最新数値 26年度 92	推移 6件増
数値	86	92	6件増
	単年度目標値		達成度
	根拠		過去5年間（平成21～25年度）の最高値（平成22年度）
数値	103		89.3%
	中長期目標		
	全国順位	数値	目標年次
数値			
	達成度		根拠
	備考		H21 92件 H22 103件 (H23は国民文化祭に集約されたため非開催) H24 80件, H25 86件
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		申込数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：103（平成22年度） 平均値：90 最低値：80（平成24年度）	
7 評価結果		25	26
		e	d
			c

指標名	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数（件）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先 366-0033	
1 指標の説明			
京都市芸術文化特別奨励制度（将来に向けて積極的な芸術文化活動を行う、若い芸術家等の育成を目的として奨励金を交付）への応募者数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
文化芸術の新たな創造活動が活発に行われていることを示す指標		出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 77	平成32年度目標値 ー	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す
	前回数値 25年度 85	最新数値 26年度 90	推移 5人増加
数値	85	90	5人増加
	単年度目標値		達成度
	根拠		過去5年間（平成21～25年度）の最高値（平成21, 25年度）
数値	85		106.0%
	中長期目標		
	全国順位	数値	目標年次
数値			
	達成度		根拠
	備考		H21 85件, H22 77件 H23 72件, H24 72件 H25 85件
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		応募者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：85（平成21, 25年度） 平均値：78 最低値：72（平成23, 24年度）	
7 評価結果		25	26
		d	a
			a

政策名	6	文化
指標名	文化施設の年間入場者数（人）	
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先 366-0033
1 指標の説明 文化施設（動物園，美術館，二条城，無鄰菴）の利用者数		
2 指標の意味 幅広い市民が多彩な文化芸術に親しんでいることを示す指標		3 算出方法・出典等 出典：事業担当課調べ
4 数値		
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 3,125,718	平成32年度目標値 ー 根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す
	前回数値 25年度 3,304,860	最新数値 26年度 3,024,215
	推移 280,645人減	単年度目標値 数値 3,470,802
		根拠 過去5年間（平成21～25年度）の最高値（平成21年度）
		達成度 87.1%
	全国順位	中長期目標
	数値	目標年次
		達成度
		根拠
	数値	備考
		H21 3,470,802人 H22 3,125,718人 H23 3,399,819人 H24 2,931,984人 H25 3,304,860人
5 評価基準 最新の数値が，過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		6 基準説明 利用者数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較する必要があるため，過去5年間の数値をもとに，基準を設定した。 最高値：3,470,802（平成21年度） 平均値：3,246,637 最低値：2,931,860（平成24年度）
		7 評価結果
		25 26 27
		d c e

指標名	本市が指定，登録した文化財の数（件）	
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先 366-1498
1 指標の説明 本市が指定，登録した文化財の数		
2 指標の意味 かけがえのない文化財が保護されていることを示す指標		3 算出方法・出典等 算出方法：事業担当課調べ 出典：京都市教育委員会告示
4 数値		
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 7	平成32年度目標値 ー 根拠 平成27年度～平成31年度の指定，登録文化財件数の最高値を目指す
	前回数値 25年度 6	最新数値 26年度 6
	推移 増減なし	単年度目標値 数値 9
		根拠 過去5年間（平成21～25年度）の最高数値（平成21年度）
		達成度 66.7%
	全国順位	中長期目標
	数値	目標年次
		達成度
		根拠
	数値	備考
		H20 4件，H21 9件 H22 7件，H23 6件 H24 6件
5 評価基準 最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～平均値超 c：平均値 d：最低値以上～平均値未満 e：最低値未満		6 基準説明 指定・登録件数は毎年変動するものであり，一定の数字と比較する。過去5年間の数値をもとに，基準値を設定した。 最高値：9件（平成21年度） 平均値：6件 最低値：4件（平成20年度）
		7 評価結果
		25 26 27
		C C C